

エンタープライズ・グレードの  
可用性・拡張性・安全性を提供する

# Oracle Cloud Infrastructure

柔軟なコンピュートやストレージ、ネットワークなど、  
核となるインフラ機能セットを備え、すべてのワークロードを  
クラウドで実行できる機能をお客様に提供します。

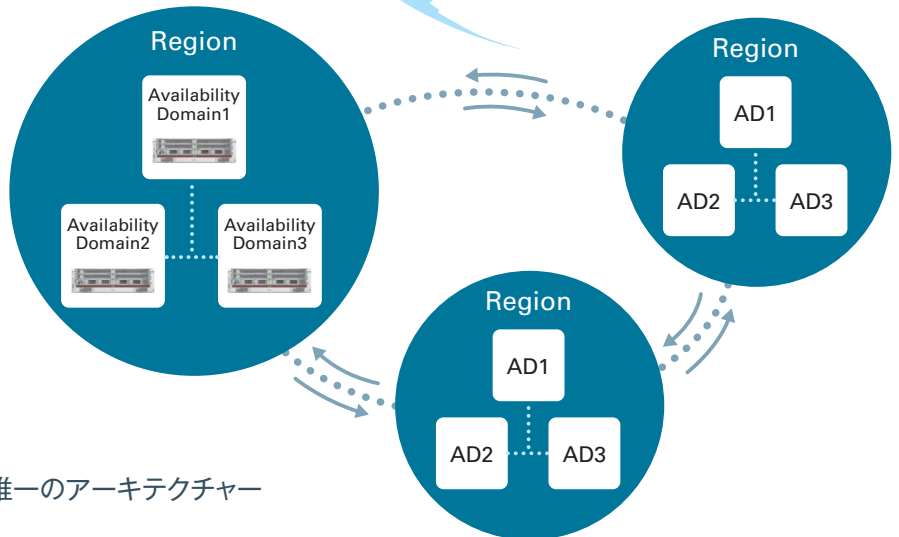
## Oracle Cloud Infrastructureの優位性

Oracle Cloud Infrastructureは、その独自のアーキテクチャーにより、比類のない可用性と拡張性を提供します。

### クラウド基盤で高可用性を担保するアベイラビリティ・ドメイン

ミッションクリティカルなシステムに  
不可欠な高可用性を提供

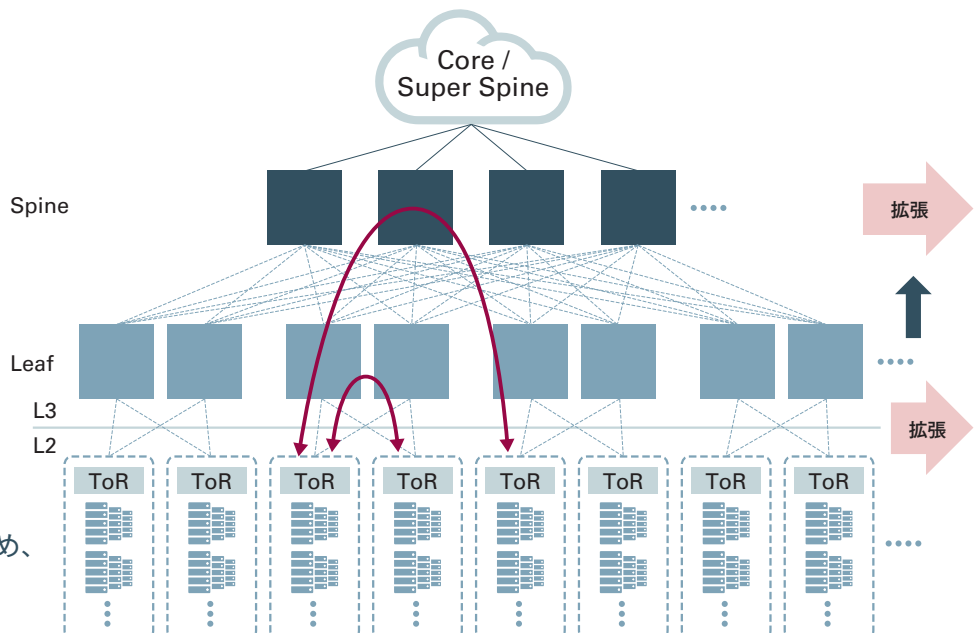
- 相互に障害の影響を受けない、  
完全に独立した  
アベイラビリティ・ドメイン(AD)を  
3つ以上用意
- リージョン内のAD間は  
超高速(1Tb/sec)かつ  
低レイテンシー(< 500µs RTT)の  
ネットワークで接続
- ベアメタルマシンを提供するIaaSでは業界唯一のアーキテクチャー



### 階層間で帯域不足が発生しないネットワークポロジ

安定した帯域と性能を実現する  
ネットワークポロジを採用

- AD内は高速(25Gb/sec)かつ  
低レイテンシー(< 100µs RTT)の  
予測可能なインターコネクト
- Spine&Leaf型の採用により、  
高いスケラビリティを実現
- サーバー台数拡張時も、  
上位のSpineを拡張する、  
スケールアウト可能なデザイン
- ネットワークやCPUの  
オーバーサブスクリプション\*がないため、  
安定した帯域と性能を実現



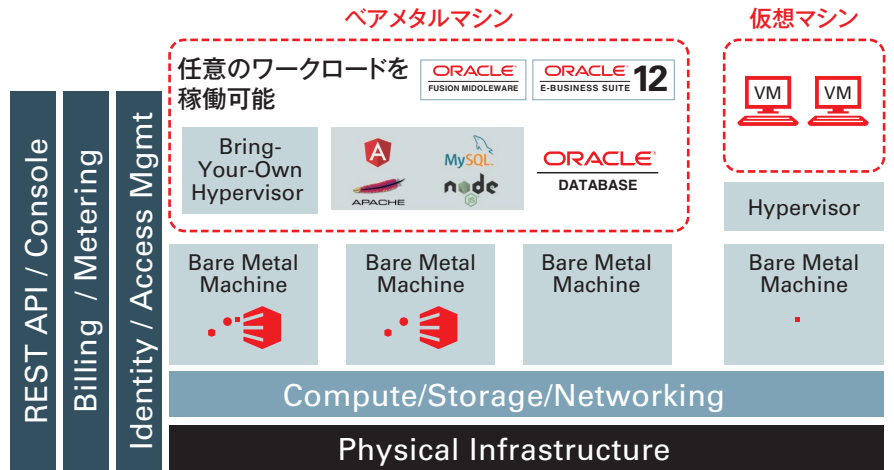
\*オーバーサブスクリプション: インスタンスに割り当てたCPU・ネットワーク帯域の合計が物理リソースを超過している状態のこと。

## 迅速な立ち上げと優れた拡張性を提供

### Oracle Cloud Infrastructure - Compute

オンプレミス環境をそのままクラウドへ移行、高い性能とセキュリティ、可用性を実現

- 完全な占有環境を提供する  
ベアメタルマシンと、小規模利用可能な仮想マシンの2パターンを提供
- 高速なサーバーと  
ストレージ(Local NVMe SSD)を配備、データベースやビッグデータ等の大規模ワークロード稼働も可能
- 1時間 ¥7.6/OCPU~, Outboundデータ転送が最初の10TB無償など、高いコストパフォーマンスを実現



### Oracle Cloud Infrastructure - Compute Classic

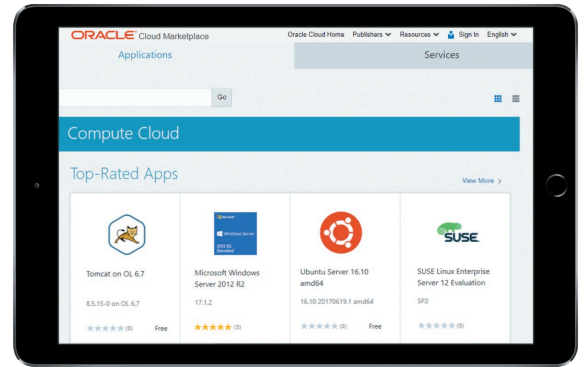
業界で一般的な仮想マシンを1コア2スレッドから提供、GPUやSPARCも利用可能

#### Elastic Compute Cloud Service

- ーリソースは**共有ゾーン**に配置、マルチテナント・ハードウェア
- ー1 OCPUから契約可能。契約期間も1時間/1ヶ月/1年単位で選択可

#### Dedicated Compute Cloud Service

- ーリソースは**専有ゾーン**に配置、シングルテナント・ハードウェア
- ーx86サーバーは250 OCPUから1年契約
- ーSPARCサーバーは300 OCPUから1年契約

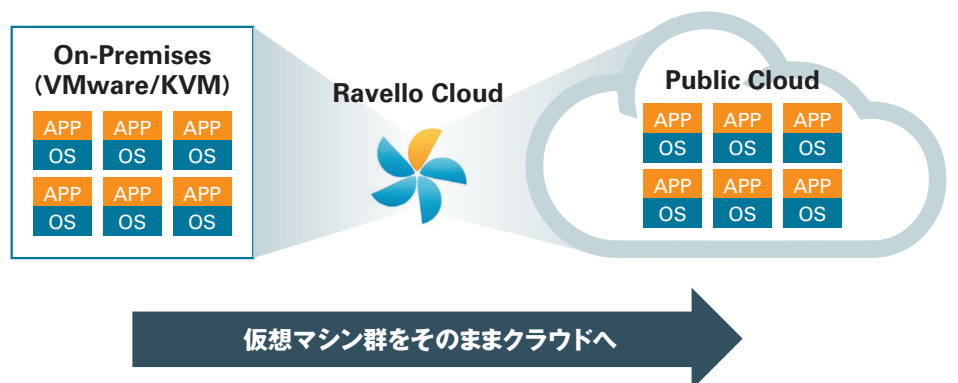


Oracle LinuxやSolarisに加え、多様なテンプレートを提供

### Ravello Cloud Service

既存のVMware環境を“そのまま”パブリッククラウドで実行可能

- オンプレミスのVMware/KVM環境をカプセル化し、仮想マシンの変換、ネットワーク再設定等なしに移行
- 東京リージョンを含む世界中のクラウドに展開可能
- オンプレミス環境を縮小、ハードウェアや仮想化ソフトウェア費用を削減



# Storage

多彩なデータ保管ニーズに、優れたコストパフォーマンスで対応



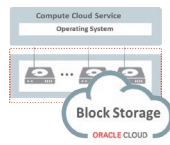
## 超低価格アーカイブ・ストレージ

- 大容量/長期保管が必要なアーカイブデータ（メール、ビデオ、研究データ等）、ビッグデータ保管に最適
- 価格: 1TB ¥312/月



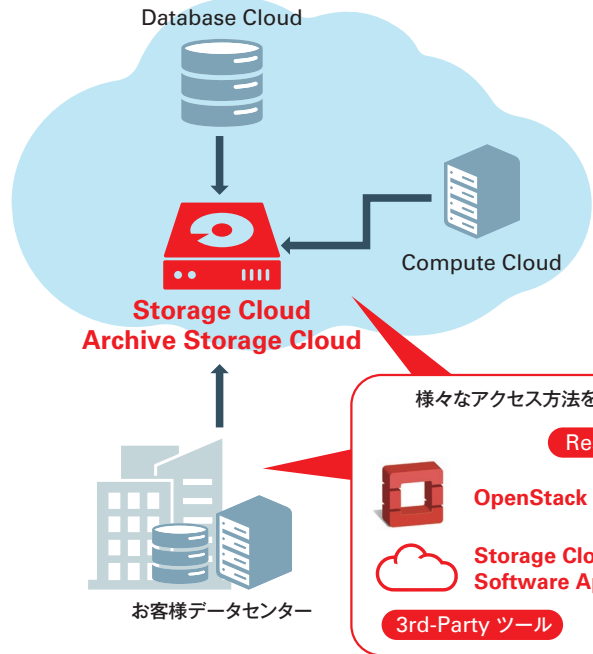
## 業界準拠のオブジェクト・ストレージ

- Oracle Cloud環境での汎用ストレージ、オンプレミス環境のバックアップに最適
- 価格: 1TB ¥3,060/月



## 高速なブロック・ストレージ

- Compute Cloud Serviceと組み合わせて使えるストレージ領域
- 価格: 1GB ¥5.1/月



# Network

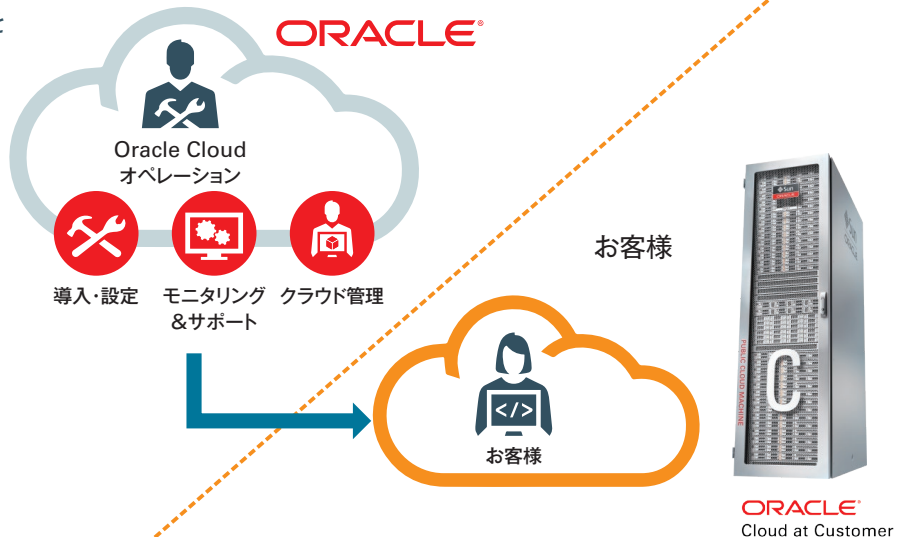
高性能と堅牢なセキュリティを両立させたネットワークを提供

- **Virtual Cloud Network:**  
ソフトウェア制御による安全でプライベートな仮想クラウド・ネットワークを実現
- **IPSec VPN:**  
仮想プライベート・ネットワークの一部としてIPSecトンネルを介してOracle Cloud Platformに接続
- **FastConnect:**  
データセンターとOracle Cloud Platform間に高帯域接続を提供
- **Load Balancer:**  
プロビジョニング済のロードバランサにより、アプリケーションの可用性とパフォーマンスを向上

# Oracle Cloud at Customer

オンプレミスでもオラクルのパブリッククラウドが利用可能

- オラクルのパブリッククラウドと同じサービスをお客様のデータセンターで利用可能
- 同じアーキテクチャで極めて高い互換性  
パブリック/プライベート間のマイグレーションも可能
- ハード/ソフトウェア/サービスをオールインワンで提供
- メンテナンスやモニターもオラクルがリモートで対応



# サービスの活用例と推奨構成の参考価格

※OCPU=Oracle Computing Unit

オラクルのIaaSソリューションは、様々なシステム構築ニーズに低コストで対応します。



## USE CASE 1

### エンタープライズシステムのクラウド化

高負荷処理を効率的に処理し、ビジネス改善をするケース  
システム停止がビジネスに与える影響度が高い「落としたくない」システム



#### 期待される効果とポイント

- 高い可用性と性能を両立した  
エンタープライズ・レベルの次世代インフラ
- 競合他社と比較し、高コストパフォーマンスを実現
- ハードウェアの調達や保守、設置費、メンテナンス工数を削減



#### 参考価格

**【占有環境】¥214,000/月～**

Bare Metal Cloud Services Standard Compute Capacity  
36 OCPU, 256GB メモリー×1台分/データ 1TB/1か月

**【共有環境】¥20,000/月～**

Bare Metal Cloud Services Virtual Machine Standard  
1 OCPU, 15GB×メモリー×2台分/データ 1TB/1か月

※いずれも有償OSおよびデータベースは含みません



## USE CASE 2

### VMware環境のクラウド移行

VMware環境のクラウド移行を実現、起動停止が多い開発検証環境でコスト効果大  
開発/検証環境やトレーニング環境の構築



#### 期待される効果とポイント

- 既存のVMware環境をそのままクラウド化
- ハードウェアコストおよびメンテナンスコストを削減
- 従量課金モデルによるコスト削減



#### 参考価格

**¥32,000/160時間 (5VM分)**

Ravello Cloud Service Performance Optimized Enterprise  
5VM/データ 120GB/160時間(8時間×20日)



## USE CASE 3

### 使い慣れたファイルサーバーをクラウドで

二次バックアップの遠隔保護によるBCP対策  
グローバルなファイル共有基盤、ログ情報などのアーカイブデータ格納



#### 期待される効果とポイント

- ファイルサーバをそのままクラウド化
- データ多重化による高耐久性を確保
- VPN接続およびデータ暗号化によるセキュアな環境を実現



#### 参考価格

**¥14,000/月～**

Compute Cloud Service + Block Storage  
1 OCPU/データ 1TB/1か月

Oracle Storage Cloud Service - Object Storage  
データ 1TB/1か月

## \$300分の無料トライアルでOracle Cloudを体験!



[https://cloud.oracle.com/ja\\_JP/tryit](https://cloud.oracle.com/ja_JP/tryit)

Oracle Cloudでは、\$300分の各種クラウドサービスを無料でお試しいただけるトライアルサービスをご提供しております。無料トライアルのお申込み方法の詳細は、QRコード、またはURLにアクセスしてください。

※本資料記載の価格は、2018年5月時点のものです。

\*OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

日本オラクル株式会社

〒107-0061 東京都港区北青山2-5-8 オラクル青山センター  
oracle.com/jp

お問い合わせ窓口



Oracle Digital

TEL 0120-155-096

URL [oracle.com/jp/contact-us](https://oracle.com/jp/contact-us)